

# 令和2年度学校自己評価システムシート (県立与野高等学校)

目指す学校像	「二兎を追い、獲得する」をモットーとして、学力と創造力及び他者を尊重する心を育み、一人ひとりの進路実現を目指す学校
--------	---

重点目標	1 幅広い教養と確かな学力の向上を図り、進路実現を支援する。 2 自己を律し、他者を尊重する精神と、自らが主体的・能動的に行動する意識を育成する。 3 保護者・地域に積極的に説明責任を果たし、開かれた学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	12名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価(2月1日現在)		実施日 令和3年2月15日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>&lt;現状&gt;希望する上位大学の合格者数は増加している。他方、学習意欲は二極化し、家庭学習が不十分な生徒も見受けられる。</p> <p>&lt;課題&gt;高大接続改革・新学習指導要領等に対応する思考力を高める学習指導と生徒の自己実現力、コミュニケーション力を高める必要がある。また、高い志を維持して、進路の準備に取り組むよう指導する必要がある。</p>	<p>○授業充実と生徒の学力向上</p> <p>○生徒が希望する進路実現</p>	<p>①授業公開週間と職員研修会の実施</p> <p>②家庭学習を定着させるための週末課題等の実施</p> <p>③「与野高校に身に付けさせたい能力アンケート」の実施</p>	<p>①授業公開・職員研修会の参加者数</p> <p>②生徒・保護者アンケートの結果(授業満足度・家庭学習の自己評価)</p> <p>③昨年度末結果と今年度末結果を比較</p>	<p>臨時休業・分散登校・時差通学の措置をとりながらも、長期休業や行事を適宜見直し、例年の授業時間を確保したICTを活用し学力向上に取り組んだ</p> <p>①授業公開1回・職員研修会2回実施</p> <p>②学校生活アンケート「授業満足度」は81%(前年度80%)、「家庭学習に取り組んでいる」は41%(前年度36%)</p> <p>③身に付けさせたい能力アンケートの積極性を示す値は67%(前年度60%)</p>	B	<p>○学習意欲の更なる向上、感染症対策等のために、ICTを活用した校内での活用、遠隔授業に向けた準備を進めていく</p>	<p>○コロナ禍で臨時休業や時差通学など様々な影響が生じる中において、学校行事見直しやICTの活用をとおして、学力向上につながられたことは評価できる。</p> <p>○模試がWeb上で実施されたり、受験方法が変更されたりしたため、より一層進路指導を充実させ、どの方法でも対応できるようにしていただきたい。</p> <p>○今年度の経験を来年度の学習活動・進路指導に生かしていただきたい。</p>
2	<p>&lt;現状&gt;落ち着いた校風の下で、多くの生徒が生徒会活動・部活動に取り組んでいる。一方、現状に満足し積極的に欠ける傾向がある。</p> <p>&lt;課題&gt;「二兎を追い、獲得する」をモットーとした活動を継続、発展させるため、生徒の自己管理能力、チャレンジ力及び協働力を高める必要がある。</p>	<p>○学校行事・部活動とおした自己管理・チャレンジ力等の育成</p> <p>○与野高生としてのプライドの育成</p>	<p>①生徒主体の生徒会・学校行事によるチャレンジ力・協調力の育成</p> <p>②自己管理能力向上のための部活動のスケジュール管理</p> <p>③学校づくり懇話会での学校評議員等と生徒会役員による意見交換</p>	<p>①生徒・保護者アンケートの結果(行事の満足度)</p> <p>②生徒・保護者アンケートの結果(部活動の満足度)</p> <p>③学校づくり懇話会での意見交換が活かされたか</p>	<p>多くの行事が中止となり、部活動も制約されたが、積極的に取り組み、部活動では全国大会レベルの成果をあげた</p> <p>①学校生活アンケート「行事への意欲的な取組」は90%(前年度88%)</p> <p>②学校生活アンケート「部活動への意欲的な取組」は84%(前年度76%)</p> <p>③学校づくり懇話会は緊急事態宣言のため書面による意見集約にとどまった</p>	A	<p>○学校行事等が中止となったため、生徒間での引継ぎを来年度中にしっかりと行う</p>	<p>○多くの行事が中止となったが、実施された行事等に対して意欲的に取り組んでいることがわかり嬉しく思った。</p> <p>○多くの生徒が「入学して良かった」「ルールを守って生活している」と回答しており、与野高生としてのプライドは十分にあると感じた。</p> <p>○整容指導について、より分かりやすい方法に改善してほしい。</p>
3	<p>&lt;現状&gt;本校の教育活動が地域に理解され、地域に根ざした学校として地域との交流を行っている。また、HPの充実や一斉メール配信が軌道にのっている。</p> <p>&lt;課題&gt;地域との交流および学校からの情報発信をより一層充実させ、保護者・地域等とのさらなる信頼関係を構築する。</p>	<p>○保護者・地域等の連携の進化</p>	<p>①ホームページのさらなる充実</p> <p>②メール配信システムを使用したきめ細かな連絡</p> <p>③PTAと連携した交通安全指導、マラソン大会等への運営協力者数の増加</p> <p>④生徒募集を効率化させ中学生および保護者へ情報を適切に提供</p> <p>⑤地域の学校等との連携拡充</p>	<p>①部活動のホームページを含めた更新回数</p> <p>②メール配信の頻度・回数</p> <p>③PTA活動の参加者数</p> <p>④学校説明会の参加者数</p> <p>⑤保育体験や小高連携事業の参加者数</p>	<p>感染症対策のため学校説明会が制約される中、ホームページで積極的に情報発信した</p> <p>ホームページをリニューアルした</p> <p>①ホームページは、臨時休業中はほぼ毎日、その後も月に3回以上更新</p> <p>②メール配信は250回以上</p> <p>③交通安全指導、マラソン大会など多くのPTA行事が中止となった</p> <p>④学校説明会は3日計画し2日実施(約2500人の中学生・保護者が来校)</p> <p>⑤多くの体験活動が中止となったが、陸上部が地元小学校との交流を実施</p>	B	<p>○ICTを活用した情報発信に取り組む</p> <p>○PTA活動に参加しやすい状況を醸成する</p> <p>○多くの生徒が地域と交流できるよう取り組む</p>	<p>○PTA活動や地域との交流がほとんどできなかったため、次年度は皆で考え実施したい。</p> <p>○ホームページやメール配信の活用により紙の節約につながったことは評価できる。</p> <p>○ホームページをより見やすくする必要があるのである。</p>